



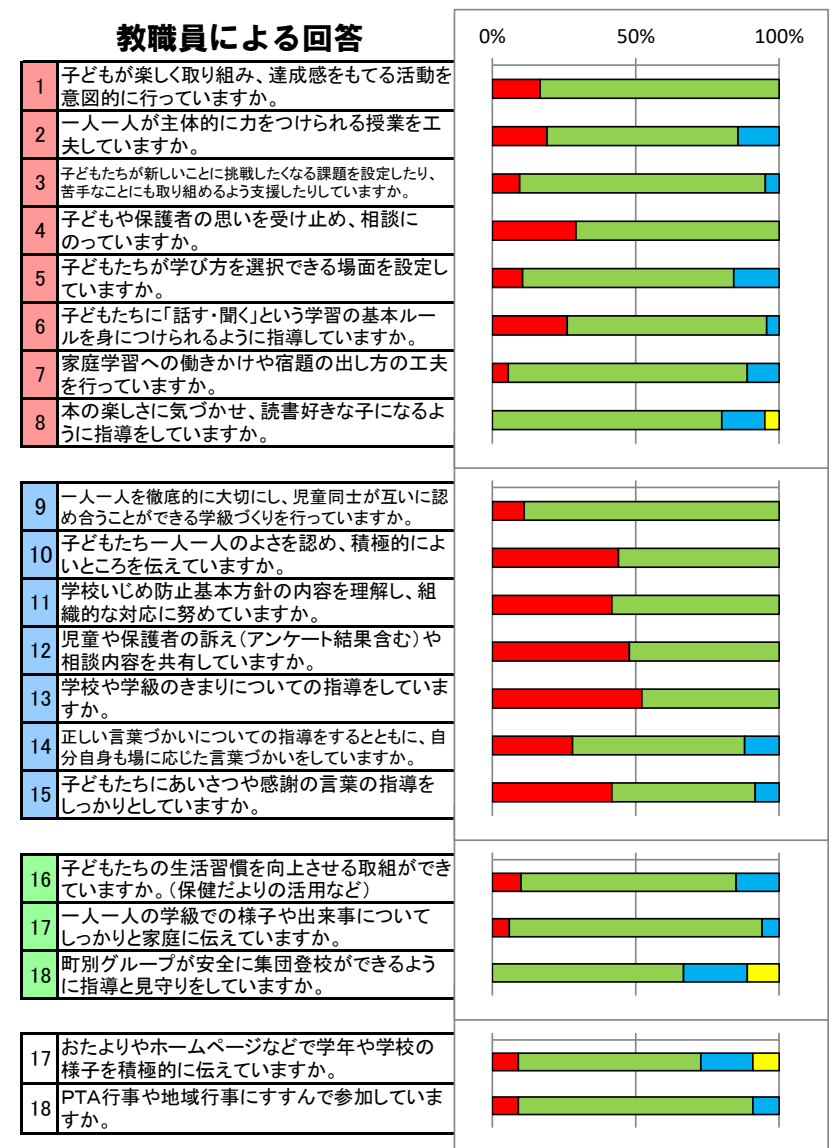
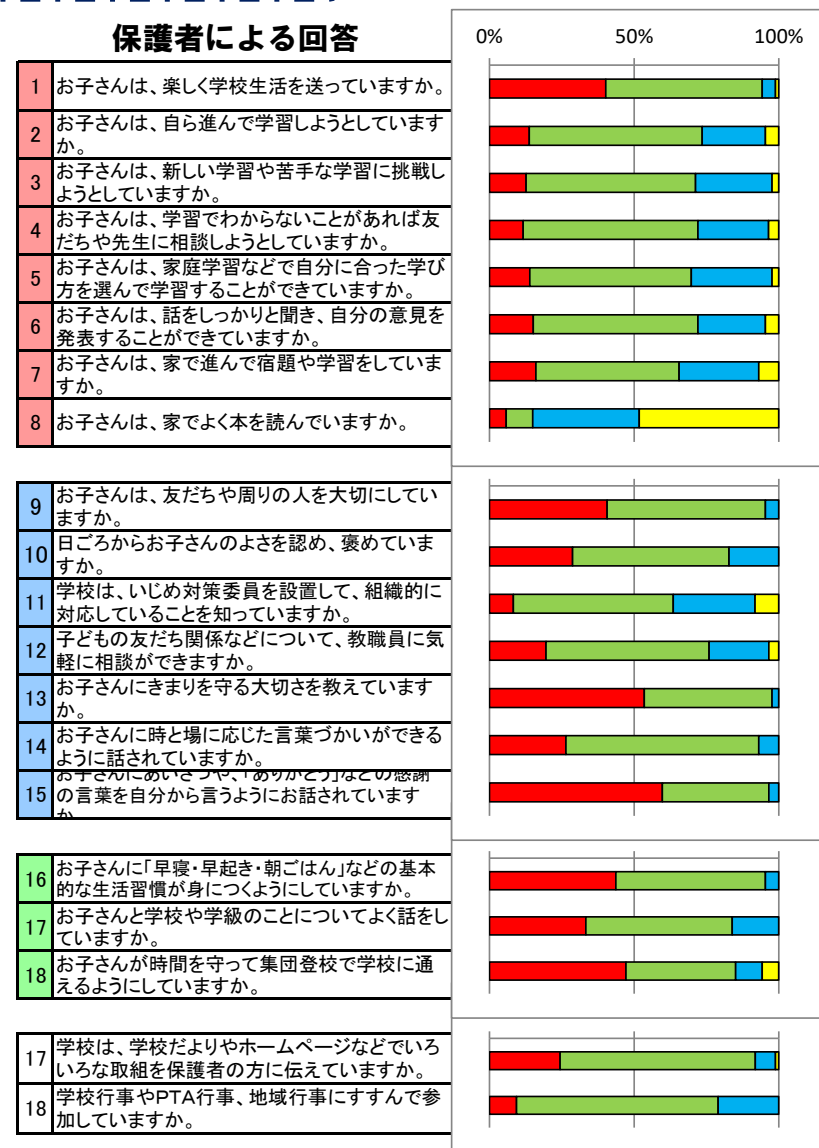
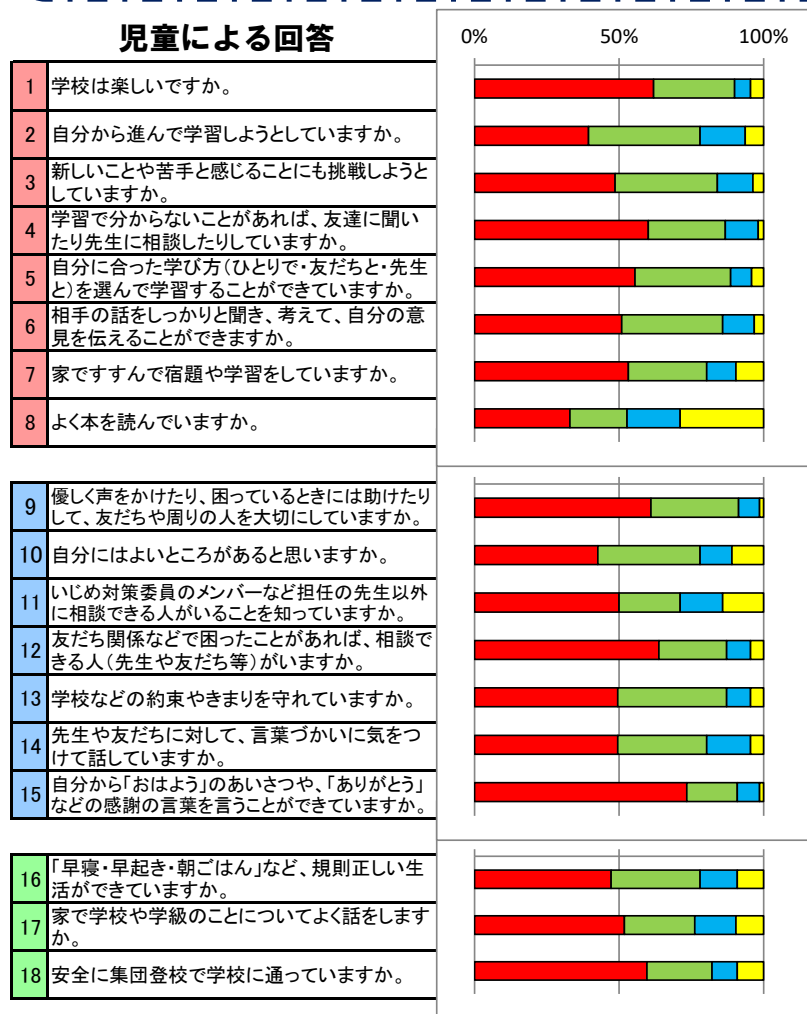
祥栄だより～前期学校評価～

令和8年8月28日
京都市立祥栄小学校
校長 木村 憲章
TEL075-681-1556



7月に実施しました学校評価の結果がまとまりましたのでお知らせします。今年度前半の子どもたちやご家庭、教職員の様子がアンケートを通して見えてきます。この学校評価の結果を今後の本校教育に生かし、児童一人ひとりのよさをさらに伸ばしながら、課題を改善・解決していきたいと思ひます。今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。アンケートへのご協力ありがとうございました。

そう思う	大体そう思う	あまり そう思わない	そう思わない
------	--------	---------------	--------



【自由記述欄へのご意見を受けて】

アンケートの各項目への回答に加え、様々なご意見をいただき、ありがとうございました。いただいた皆様のお声を今後の学校運営・学校教育に生かしていきたいと思ひます。

【「すぐーる」での健康観察などの活用】

水泳学習の健康観察などで活用の幅を広げてほしいとの声がありましたが、すぐーるでの健康観察では、持ち物や健康観察表の提出が保護者の方任せになってしまうことも予想されます。学校としては、子どもたち自身で学習の準備等をしてほしいとも考えておりますので、お知らせいたします。

【参観日】

参観日を2日に分けて1日で実施してほしいとの声がありました。お仕事をされている方にとっては2日間の休みを取るのが難しい方もいらっしゃると思ひますので、参観日を1日で開催することも含めて、来年度以降検討していきたいと思ひます。

【ペットボトルの持参】

学校へ持っていく水筒を、ペットボトルも許可してほしいという意見をいただきました。学校では環境への配慮によるごみ削減や安全面の観点から、ペットボトルではなく水筒を持参していただいております。引き続き、水筒の準備にご協力くださいますようお願いいたします。

【給食エプロン】

給食エプロンのほつれなどについての意見をいただきました。給食当番だった週末に持ち帰っていただいたときにほつれなどに気づかれましたら、補修をしていただけますとありがたいです。補修が難しい場合や、ボタンなどが無い場合は学校までご連絡いただけますと非常に助かります。ご協力よろしくお願いいたします。

【あたらしいことにも挑戦する子】※主に学習に関する項目

●7「家で進んで宿題や学習をしているか」の保護者の項目は、肯定的な意見が去年度よりも増えています。本校では、3年生以上で宿題に「自主学習」を取り入れており、自分で学習の計画を立てたり、調べ方・まとめ方などを工夫したりして、主体的に学びを進められるようにしています。

●8「本を読んでいるか」の項目については、児童・保護者ともに去年度同様低い値となっています。本校では、朝の読書時間を設けたり、地域ボランティアの方にご協力いただいて、毎週金曜日に全学年順番で読み聞かせを実施したりしていますが、児童の意識の変化には結びついていないようです。今後は、委員会による読書推進活動を中心として、学校司書と連携しながら読書好きな児童を育むための取り組みを実施していきます。

●3・5は、今年度の学校教育目標に合わせて新たに追加した項目です。様々なことにチャレンジすることや、自分で考え、選択する力がこれからの社会では必要となってきます。本校でも、これらの力を身に付けられるような取組を推進していきます。

【あいても自分も大切にする子】※豊かな心や社会性に関する項目

●12「困ったことを相談できているか」の項目は、児童・保護者ともに昨年度より数値が下がっています。これまで、一人一人の心に耳を傾け、困りごとや悩みに対応してまいりましたが、十分に行き届いていない面があったと受け止めております。今後は、子どもたちや保護者の皆様がより安心して相談できる環境づくりに努めるとともに、一層丁寧な対応を心掛けてまいります。また、日頃のコミュニケーションを大切にしながら、相談しやすい雰囲気づくりと早期の気付き・対応に努めてまいります。

●10は、新たに追加した項目です。児童の結果を見ると、否定的な意見が2割以上あり、自分に自信が持てず自己有用感・自己肯定感を感じられていない児童が一定数いるのが現状です。本校では、「SK(祥栄カッコいい)」に取り組んでいますが、SKな姿を紹介する『SK投稿チャネル』というものがあります。教職員が見つけたSKな場面を投稿しているのですが、今後はより積極的に活用していき、クラスや学校全体で一人一人の頑張りを共有していきたいと思ひます。

【あした、もっと元気になる子】※健康・安全に関する項目

●16「基本的な生活習慣」については、前回の数値と大きな変化はありませんが、遅刻をする児童が多いことが本校の課題として挙げられます。児童に話を聞くと、遅刻の原因の多くは「寝坊」です。遅い時間まで遊んでいたスマホを使っていたりして、寝る時刻が遅くなっているようです。記憶の定着は、寝ているときに行われるといわれていて、睡眠時間が少なくなると、学習したことが覚えにくくなってしまいます。また、スマホを長い時間使用すると、脳に大量の新しい情報を入れるため、集中力や記憶の整理を妨げる可能性があるという研究結果もあるようです。毎日規則正しい生活を送ることを心掛け、身も心も健康な状態で学習に望めるようにしてほしいと思ひます。

●18「集団登校」についても大きな変化はありませんが、集団登校でのトラブルなどを耳にすることがあります。また、下校時に決められた道とは違う道で帰っているということもあるようです。2学期からは、株式会社ottaと協力して、子ども達の見守りを強化してまいりますので、ぜひご活用ください。